地域とつながり町の安全を守る
安心安全ていきょう隊

すっかり日も暮れた午後8時、警察官にまじって防犯チョッキを身にまとい、路上駐車の注意や安全の声かけをしている人たちがいます。夜になると人通りも少なくなる福岡県大牟田市では、毎月25日を飲酒運転撲滅の日と制定し、商店街を中心に防犯パトロールを行っています。そのなかに帝京大学福岡キャンパスのボランティア団体「安心安全ていきょう隊」の姿もありました。「パトロールで大事なのは、警察だけでなく地域の方々と協力すること。私たちは地域一丸となって街を守っているんです」と、大牟田警察署の方は話します。その名のとおり街の安全を守るべく、安心安全ていきょう隊も2012年2月から活動に参加。このボランティア活動は、大学で医療従事者をめざす学生たちにとって大変貴重な場にもなっています。「僕たちがめざす理学療法士は、医師の指示のもと、患者さんにリハビリを行うのが主な仕事。身体をできるだけ正常な状態に戻すことはもちろん、心のケアも欠かせません。何気ない会話から生まれるコミュニケーションが患者さんとの信頼関係につながるんです」。そう話すのは理学療法学科3年の豊田靖晴さん。パトロールで生まれる地域住民との交流は、より実践的な経験となっているようです。

昨年、発足当初から地域の方々と協議し、専属でこの活動を統括していた教授が転出になり、活動の存続が懸念されました。しかし、隊のリーダーを務める理学療法学科3年の疋田祐一さんを中心に学生たちがこの活動を受け継ぎ、今では学生が主体となって毎月のパトロールを行っています。疋田さんは大牟田への思いを話します。「大牟田は、自分たちにとっても帝京大学にとっても大事な場所。住民の方から大牟田の伝統的な盆踊りである炭坑節を教えていただいたり、感謝の言葉を掛けていただいたりすることも。パトロールを続けることで、地域の方々ともっと深くつながれたらと思います」。卒業後も地元で就職し暮らしていく学生が多い福岡キャンパスでは、地域とつながる活動が受け身だった学生に、自主的に行動する意識を芽生えさせました。

学生たちの夢は、今後も隊の活動が代々受け継がれていくことなのだそう。2015年4月には新たに医療技術学科（救急救命士コース／臨床工学コース）も開設され、ますます盛り上がりを見せる福岡キャンパス。多くの学生がこの活動に参加することで、地域とのつながりも強くなっていくことでしょう。安心安全ていきょう隊は大牟田を見守る頼もしい存在として、これからもパトロールを続けていきます。

feel TEIKYO ft
あなたにつながる帝京大学　撮影・五十嵐一晴

帝京大学 TEIKYO
本部広報課　TEL.03-3964-4162
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
http://www.teikyo-u.ac.jp/

帝京大学のガイドブック2015をお届けします
「自分流」に学べる10学部30学科1短大。さぁ、興味の扉を開いてみよう！
請求先→ 0120-123361（資料請求センター）
入試情報サイト→ www.teikyo-u.ac.jp/applicants/